

令和 6 年度 健康局運営方針

(所属長 : 新谷 憲一)

「目標」「使命」及び「所属運営の基本的な考え方」	
目標	全ての市民がすこやかでこころ豊かに生活できる活力あるまち・健康都市大阪の実現
使命	全ての市民が健康で安心して生活がおくれるよう、健康危機から市民を守るとともに、市民ひとりひとりの健康意識を高め、主体的に健康づくりに取り組めるような環境づくりを支援することにより健康寿命の延伸を図る。
令和6年度所属運営の基本的な考え方	市民の健康の保持・増進を図るため、がん対策や依存症対策などの健康づくりの取り組みを推進するとともに、感染症予防対策の充実や安全安心な生活衛生の確保などの諸課題に重点的に取り組む。これらの取り組みを推進するためにも、施策の見直しを図るとともに、更なる効果的・効率的な事業運営に取り組む。

重点的に取り組む経営課題

経営課題 1 健康づくりの推進

		4 決算額	1,798百万円	5 予算額	2,065百万円	6 予算額	2,238百万円
課題認識	市民が生涯を通じて心身ともにすこやかに生活できる状態を目指すため、健康づくりの取り組みを進め、健康寿命の延伸を図る必要がある。						
主な戦略 (課題解決の方策)	【がん対策の推進】 ・大阪市健康増進計画「すこやか大阪21（第3次）」に基づき、効果的な普及啓発や受診しやすい環境整備などの取り組みを進める ・万博開催を契機としたがん検診受診率向上事業を推進し、さらなる市民の行動変容につなげる 【ギャンブル等依存症対策の充実】 ・ギャンブル等依存症の予防と、早期発見・早期介入により、ギャンブル等依存症の本人やその家族等に対する支援の充実を図る						
アウトカム 指標 (経営課題の解決に向けた進捗度を 示した指標)	【がん対策の推進】 ・本市がん検診受診者数が5がん全てにおいて前年度より増加していること 〔参考〕 「すこやか大阪21（第3次）」の最終年度（令和17年度）における目標値 市民の各がん検診受診率：60%以上 【ギャンブル等依存症対策の充実】 ・依存症専門相談、家族支援事業、一般向け啓発セミナー（アンケートによる満足度）：各70%以上 ・依存症者支援者育成事業（アンケートによる理解度）：90%以上						
アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	6 年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成					前年度実績	

経営課題2 感染症予防対策の充実						
	4決算額	83百万円	5予算額	183百万円	6予算額	1,661百万円
課題認識	市民が感染症に対して安心して生活できる状態を目指すため、感染症予防対策に取り組み、感染症の拡大を防止する必要がある。					
主な戦略 (課題解決の方策)	【将来の大規模感染症への備え】 ・将来の大規模感染症に備え、一元的な感染症対策が可能な保健所施設を整備するとともに、実践的訓練や研修の実施により感染症に関する人材養成を行う 【HIV/エイズ・梅毒対策の推進】 ・青少年に対して学校等を通じたエイズ・性感染症に関する教育を実施し、正しい知識の普及、予防行動の促進を図るとともに、感染が多くみられる対象への啓発や受検者のニーズに対応し、受検しやすい検査機会を提供する					
アウトカム 指標 (経営課題の解決に向けた進捗度合を示した指標)	【将来の大規模感染症への備え】 ・一元的な感染症対策が可能な保健所施設の整備 ・健康危機対処計画に示す感染症に関する訓練や研修の実施 【HIV/エイズ・梅毒対策の推進】 ・HIV検査受検者数を令和8年度までに12,000人以上とする (令和4年度：9,232人 令和5年度：9,924人 令和6年度：10,616人 令和7年度：11,308人 令和8年度12,000人以上)					
アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	6年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成				前年度実績	
経営課題3 安全安心な生活衛生の確保						
	4決算額	27百万円	5予算額	35百万円	6予算額	36百万円
課題認識	安全安心な生活衛生を確保するため、食中毒の発生防止など適切な衛生管理に取り組むとともに、人と動物が共生する社会の実現を目指す必要がある。					
主な戦略 (課題解決の方策)	【食の安全性の確保】 ・大規模食品製造施設に立ち入り、HACCPに沿った衛生管理を行うために自ら策定した衛生管理計画の検証と見直しを定期的実施し、その記録を残すように指導する 【「犬猫の理由なき殺処分ゼロ」の達成】 ・犬猫の引取り数を削減し、譲渡を促進するための取り組みを実施する					
アウトカム 指標 (経営課題の解決に向けた進捗度合を示した指標)	【食の安全性の確保】 ・HACCPに沿った衛生管理を行うために自ら策定した衛生管理計画の検証と見直しを定期的実施し、その記録を残している大規模食品製造施設の割合： 令和7年度末までに100%にする (3年度：50% 4年度：60% 5年度：75% 6年度：90% 7年度：100%) 【「犬猫の理由なき殺処分ゼロ」の達成】 ・令和6年度の犬猫の殺処分数を100匹未満にする					
アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	6年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成				前年度実績	
自己評価 (運営方針全体の定性評価)						
今後の方針						